

複合商業施設における回遊行動に関する分析  
名古屋市金山駅北口アスナル金山の平日調査に基づいて

指導教官 兼田 敏之 助教授

鄭 丹

1.研究の背景と目的

アスナル金山は、金山駅北地区の「交流の場」としての市の整備方針に基づき、市公社が15年契約で用地を借り受け、設計競技の未実現されたものである。市民元気創造事業という名が示す通り、金山総合駅の交通ターミナル施設と60店舗の商業施設が一体化した、地区活性化による地域ポテンシャルアップを目指す計画的施設として、2005年3月10日に開設された。

本研究は、平日の来訪者に対するアンケート調査によって、この「アスナル金山」への来訪者の属性や回遊行動の特性を明らかにすることを目的としている。

2.アンケート調査の概要

アスナル金山を利用する来訪者に対しアンケート調査を実施した。配布は2005年9月26日(月)、9月30日(金)、10月3日(月)、3日間の16:00~19:00に行った。施設の主な出入口8ヶ所で、合計2000部の調査票を配布し、256票を回収した(回収率12.8%)。アンケートの内容は、年齢、職業、住所、来訪目的、頻度、来訪人数、交通手段、立ち寄り施設数等を問うほか、添付の地図にその日の施設内での歩行経路を記入させるものである。

3.アスナル金山来訪者の回遊行動分析

3-1 回答者の傾向

調査の回答者数を属性別に表1に示す。女性の来訪者数は男性の約3倍となっており、年齢層では30代が最も多く、次いで40代、後は60代、50代、22歳以下、70代以上の順であった。職業では、会社員と主婦が多く、全体の半分以上を占めている。住所と職場・学校共に名古屋市内在が過半数を占めており、愛知県外の来訪者は少ない。来訪人数をみると、1人(男女比28:72)が全体の58.2%と最も多く、次いで2人(27.7%)、3人以上(14.1%)であった。交通手段についてみると、地下鉄、JR、名鉄を利用する来訪者が多数を占めているが、徒歩の比率も1割程度あり、近隣からの来訪があることが分かる。また金山地区に来る時には、地下鉄を利用する人が一番多く、帰る時には、名鉄、JRの利用が多い。

来訪目的(図2)についてみると、買物(38.7%)と飲食(23.4%)の回答者が最も多かったが、通り抜け(23.0%)、時間つぶし(17.6%)、金山地区に来たついでに(15.2%)なども多くみられた。

これらのことから、名古屋市内の職場や学校から地下鉄を利用して金山駅で乗り換えたり、近隣の集客施設に来訪したついでにアスナル金山に立ち寄り、買物や飲食をして、名鉄やJRで自宅に帰る人が多いといえる。

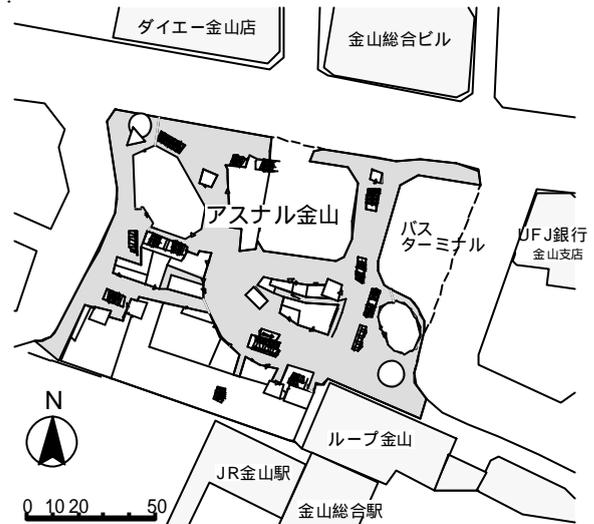


図1 ケーススタディエリア アスナル金山

表1 回答者の属性別の平均立ち寄り施設数と滞在時間

回答者個人属性	サンプル数	割合(%)	平均立ち寄り施設数(ヶ所)*1	平均予定施設数(ヶ所)*1	平均滞在時間(分)*1
全体	256	100.0	2.02	0.64	76
性別					
N=256					
男性	61	23.8	1.79	0.47	75
女性	195	76.2	2.09	0.69	77
年齢					
N=255					
22歳以下	30	11.8	2.21	0.56	85
23~29歳	28	11.0	2.44	0.67	66
30代	59	23.1	2.39	0.65	76
40代	47	18.4	1.65	0.73	59
50代	33	12.9	1.85	0.52	99
60代	38	14.9	1.69	0.62	61
70代以上	20	7.9	1.93	0.90	107
職業					
N=255					
会社員	85	33.3	2.05	0.70	79
主婦	59	23.1	1.96	0.66	70
学生	31	12.2	2.10	0.70	72
無職	27	10.6	2.15	0.53	82
公務員	22	8.6	2.35	0.53	74
自営業	9	3.6	1.86	0.80	71
その他	22	8.6	1.69	0.58	93
住所					
N=254					
名古屋市	153	60.2	2.08	0.74	77
愛知県内	79	31.1	1.85	0.60	76
愛知県外	22	8.7	2.35	0.35	63
職場・学校					
N=256					
名古屋市	137	53.5	2.09	0.74	82
愛知県内	33	12.9	1.91	0.64	54
愛知県外	8	3.1	3.29	0.14	99
職場なし	78	30.5	2.02	0.62	72
来訪人数					
N=256					
1人	149	58.2	1.87	0.65	66
2人	71	27.7	2.16	0.62	86
3人	26	10.2	2.12	0.42	77
4人	7	2.7	4.40	0.67	179
5人以上	3	1.2	1.00	0.00	70
交通手段(来る時)					
N=256					
地下鉄	79	30.9	2.18	0.69	79
JR	56	21.9	1.88	0.26	67
名鉄	58	22.7	1.98	0.84	93
バス	14	5.5	2.09	0.29	82
車	14	5.5	2.91	1.10	73
タクシー	2	0.8	2.50	0.00	170
自転車	7	2.7	2.00	1.17	42
徒歩	25	10.0	1.41	0.73	41
交通手段(帰る時)					
N=256					
地下鉄	59	23.0	2.09	0.70	105
JR	62	24.2	1.77	0.33	65
名鉄	71	27.7	2.04	0.72	81
バス	18	7.0	2.31	0.40	75
車	12	4.7	3.30	1.22	77
タクシー	2	0.8	1.00	0.00	13
自転車	9	3.5	2.13	1.29	36
徒歩	23	9.1	1.67	0.77	33

\*1は通り抜け来訪者を除く(N=192)

### 3-2 属性別に見る行動特性の分析

通り抜け者を除いたアスナル金山内の立ち寄り施設数の平均値は 2.02、平均滞在時間が 76 分であった。平均予定施設数 0.64 を 2.02 で除した平均予定立ち寄り率は 31.7% で、大須地区などと比べて予定なく立ち寄る人が多いことが分かる。立ち寄り施設数を性別でみると、女性(2.09)は男性(1.79)より多い。年齢層は 23~29 歳(2.44)の来訪者が最も多い。70 代以上は予定率(0.90)が高く、滞在時間(107 分)も長いことが特徴である。住所と職場・学校からみると、愛知県外の方は予定施設は少ないが、実際に立ち寄った施設数と滞在時間は逆に多い。また、多人数で来る人は立ち寄った施設数が多い。

属性別の立ち寄り施設種を表 2 に示す。全体では、飲食が 0.52 と最多で、食料品(0.39)、アクセサリ・雑貨(0.36)が続く。性別では、男女共に飲食と食料品が多いが、食料品は女性(0.42)の方が多。年齢についてみると、30 代以下の若年層は、アクセサリ・雑貨が多く、40 代以上は食料品と飲食が多い。職業別にみると、会社員、主婦共に飲食が最も多く、次いで食料品、アクセサリ・雑貨も多い。学生ではアクセサリ・雑貨が 0.55 と最も多かった。1 人で来る人は食料品が多く、全体的に来訪施設数が少ない。2 人以上になると飲食が多くなり、3 人では特にアクセサリ・雑貨が多かった。

以上から、1)女性や 1 人で来訪した人は食料品への立ち寄りが多いこと、2)30 歳以下の若年層や複数では飲食店やアクセサリ・雑貨に立ち寄る人が多いこと、3)40 代以上では飲食や食料品が多いことが分かった。

### 3-3 予定滞在時間と実際滞在時間の比較

滞在時間(表 3)の構成からみると、16~30 分と 30~60 分の来訪者の比率が 26.0% と最も多く、次いで通り抜けが多い 15 分以下(19.8%)、61~120 分(18.3%)であった。60 分以下の人は全体の 71.8% を占めており、短時間滞在する来訪者が多いことが分かる。これは、短時間で買物や飲食をしたり、単なる通り抜けの来訪者が多いためである。しかし、予定滞在時間より実際の滞在時間が長びく傾向にあることが分かった。

### 4. 結論

以上、これまでの調査分析結果を報告した。これらの分析より次の来訪者層の存在が浮かび上がる。それらは、1)通勤・通学途中に立ち寄り、食料品を求めて 1 人で行動する女性層、2)通勤・通学途中に待ち合わせ、複数でアクセサリ・雑貨店や飲食、書籍・文具を来訪する若年層、3)近隣に住み、生活施設として活用する中高年層、4)近接する集客施設来訪のついでに来訪し、飲食の施設に立ち寄る主婦グループ層である。

今後はさらに、歩行経路の分析を行う予定である。

参考文献：伊藤正、森尚治：都市開発の用途複合による相乗効果の研究 オフィス・商業施設・複合利用調査，日本建築学会大会学術講演梗概集日本建築学会大会学術講演梗概集，NO：5112,P223~P224，1995 年 江口浩壽、佐藤光徳、服部岑生：複合商業施設における回遊状況，日本建築学会大会学術講演梗概集，NO：5232,P463~P464，1999 年 大岩優佳理、山田哲也、三坂朋顔、兼田敏之：回遊行動からみた商店街複合地区の動態分析 名古屋市大須地区をケーススタディとして，日本建築学会技術報告集 第 22 号,469 - 474,Dec.,2005 吉田琢美：若年者の都心施設への来訪前後における回遊行動に関する研究 電気文化館来訪者へのアンケート調査をもとにして，名古屋工業大学，2004 年

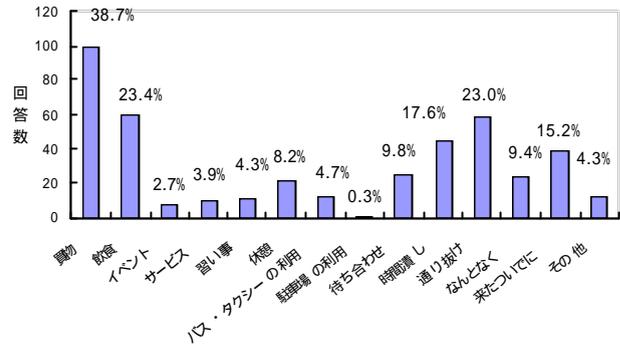


図 2 アスナル金山への来訪目的 (N=256)

表 2 属性別立ち寄り施設種順位

(1 人あたりの立ち寄り施設数 : 所)

		1位	2位	3位
全体		飲食(0.52)	食料品(0.39)	アクセサリ・雑貨(0.36)
性別	男性	飲食(0.55)	食料品(0.30)	書籍・文具(0.27)
	女性	飲食(0.51)	食料品(0.42)	アクセサリ・雑貨(0.41)
年齢層	22歳以下	アクセサリ・雑貨(0.58)	書籍・文具(0.37)	薬局・化粧品(0.32)
	23~29歳	アクセサリ・雑貨(0.92)	食料品(0.40)	書籍・文具(0.36)
	30代	アクセサリ・雑貨(0.80)	飲食(0.68)	食料品(0.30)
	40代	食料品(0.47)	飲食(0.35)	書籍・文具(0.24)
	50代	飲食(0.58)	アクセサリ・雑貨(0.38)	食料品(0.35)
	60代	食料品(0.81)	飲食(0.69)	衣料品(0.08)
職業	70代以上	飲食(0.71)	食料品(0.71)	書籍・文具(0.21)
	会社員	飲食(0.48)	アクセサリ・雑貨(0.40)	食料品(0.35)
	主婦	飲食(0.59)	食料品(0.39)	アクセサリ・雑貨(0.35)
	学生	アクセサリ・雑貨(0.55)	書籍・文具(0.35)	食料品(0.35)
	無職	飲食(0.95)	食料品(0.60)	書籍・文具(0.20)
	公務員	アクセサリ・雑貨(0.82)	飲食(0.41)	書籍・文具(0.41)
	自営業	飲食(0.86)	食料品(0.57)	書籍・文具(0.29)
その他	食料品(0.46)	薬局・化粧品(0.46)	飲食(0.23)	
来訪人数	1人	食料品(0.41)	アクセサリ・雑貨(0.36)	書籍・文具(0.31)
	2人	飲食(0.82)	アクセサリ・雑貨(0.45)	食料品(0.36)
	3人	アクセサリ・雑貨(0.94)	飲食(0.76)	食料品(0.35)
	4人以上	飲食(1.43)	食料品(0.80)	ベンチ・休憩所(0.60)

表 3 予定と実際の滞在時間の比較

予定時間	実際と予定滞在時間の差			人数 { 滞在時間別 構成比 }
	予定より 少ない	同じ	予定より 多い	
15分以下	0	21	5	26
構成比 (%)	0.0	80.8	19.2	{ 19.8% }
16~30分	3	23	8	34
構成比 (%)	8.8	67.6	23.6	{ 26.0% }
31~60分	2	20	12	34
構成比 (%)	5.9	58.8	35.5	{ 26.0% }
61~120分	2	14	8	24
構成比 (%)	8.3	58.3	33.4	{ 18.3% }
121~180分	0	2	2	4
構成比 (%)	0.0	50.0	50.0	{ 3.1% }
181~240分	0	2	2	4
構成比 (%)	0.0	50.0	50.0	{ 3.1% }
241分以上	1	4	0	5
構成比 (%)	20.0	80.0	0.0	{ 3.8% }
全体	8	86	37	131
構成比 (%)	6.1	65.6	28.2	{ 100.0% }